

令和元年10月末に始まった新庁舎建設工事は、工事開始から1年10カ月が経過しました。現在は外装工事が完了し、内装・外構工事を進めています。

10月末には内装、設備工事もほぼ完成し、11月に設備の試運転調整を行います。11月末には庁舎周りの外構工事が完了、12月に什器や備品などを搬入し、令和4年1月の供用開始を目指して工事を進めています。

問合せ先 新庁舎整備室



工事の進捗状況は、市ホームページで見ることができます

どれだけ進んでいるの？ 新庁舎の建設工事

屋上防水 (令和3年6月)
シート状の防水層を3層程度重ね、溶かしたアスファルトで貼り付けています



内装 (令和3年7月)
下階から進んでいる内装工事。1階では壁と天井がほぼ完成し、床の工事を進めています



太陽光パネル (令和3年7月)
容量合計11キロワットの太陽光パネルを設置しました



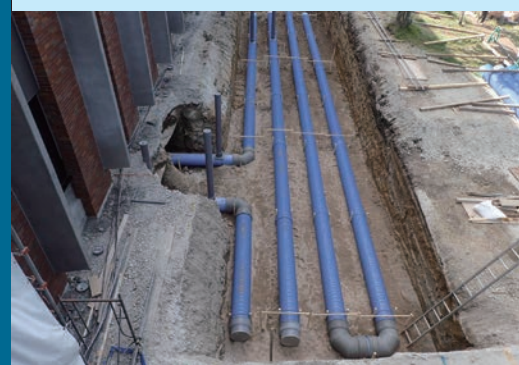
西側外壁 (令和3年7月)
レンガとコンクリートルーバーで縦方向に仕切ったデザインに



全景 (令和3年8月)
完成イメージに近づいてきました。今後、ひさしやカバードウォーク、外構が施工されます



アースチューブ (令和3年8月)
地中熱を活用し、空調負荷を軽減するアースチューブを埋設しました



新庁舎では、省エネのために3つの手法を採用しているんだって



外断熱工法・高断熱ガラス

- 高い断熱性能と蓄熱効果による冷暖房費の削減
- 高断熱ガラス、断熱サッシの採用による空調負荷の軽減

再生可能エネルギー

- 地中熱の活用による空調負荷の軽減
- 太陽光発電システムの採用

高効率システム

- 間仕切りの無い執務スペースでの、床吹き出し空調方式の採用
- LED照明、昼光センサー、人感センサーなどの採用

持続可能な開発目標SDGsを意識したつくりになっているね

